



第24号  
2011・11

江南市国際交流協会  
Konan Society for Internationalization

## 第16回 国際交流フェスティバル

～見つけてみよう世界のともだち　来て、見て、会って、世界の輪～

8月28日(日)すいとぴあ江南

2,500名が会場を訪れ、バングラデシュの伝統舞踊、南米各国のダンスや音楽をはじめ、各国の人とのおしゃべりコーナー、日本の伝統文化(お茶席体験や能楽)に触れるなど様々なイベントで、多文化交流を楽しみました。また、在住外国人の皆さん、母国の料理の店を出し、おいしい料理に参加者の皆さん、笑顔がこぼれています。



南米にルーツをもつ子どもたちが、楽しいダンスを見せてくれました。



生け花や押し花など、たくさんの体験コーナーでは、子どもや学生の皆さんも楽しみました。



フレンドシップ国ミクロネシア連邦にある日本語学校の皆さんからの折鶴を展示し、後日、被災地にお贈りしました。



バングラデシュの華やかな衣装を身にまとって、優雅な舞踊を披露しました。



外国をもっとよく知ろうと企画したお国自慢コーナーでは、様々な国の人たちと来場者が会話を楽しみました。



フレンドシップ国子どもたちに贈る絵には350点の応募があり、当日展示を行いました。後日現地に送付します。



赤いシャツを着た60名の中高生ボランティアが参加者への案内などを頑張りました。恒例の「みんなでおどろ！」では、楽しく交流をしました。

在住外国人の方にインタビュー♪

世界の食習慣(お正月)／ブラジル：豚を食べます(豚は、前に出ている鼻で新年に前進=突進して行く)!!

# 2011年度 総会

5月28日(土) 江南市民文化会館

総会において、栗本務氏が会長を退任され、新会長に松岡清司氏が就任されました。また、協会でボランティアとして、長年熱心に活躍された皆さんへの表彰式のほか、各地で講演活動を行っている外国人相談員の大島ヴィルジニアユミさんに、在住外



松岡 新会長



表彰を受けた皆さん

国人の現在の動向や、ボランティアにどんな支援が求められているのか、お話を伺いました。

恒例の交流会では外国人市民の皆さんやクッキングボランティアの皆さんが腕によりをかけて作ったブラジルやペルー、中国の料理、ラッシーなどを楽しみながら、参加者の皆さんのが交流を深めたほか、東日本大震災復興への支援のため、バザーを開催し、多くの方から協力をいただきました。

## 外国人のための公共施設見学会

6月28日(火)

地域に住む外国人のみなさんが、保健センター や消防署、環境美化センターなどを訪れ、職員から施設の利用方法などを説明してもらいました。「健診や相談などたくさんのプログラムについてわかりやすく説明をしてもらえた」「ごみの分別やリサイクルの大切さがよく理解できた」などの感想が聞かれました。



## 外国人無料健康相談会

7月24日(日)江南団地第1集会室

NPO法人外国人医療センターの協力により、市内在住の中国人やブラジル人など50名が健康診断を受けました。外国人は、夜勤や長時間労働が多いため、健康に不安を持ちながら、働いていることが多いのですが、母国語で相談や健診が受けられる貴重な機会となりました。



## 子ども国際理解講座

8月6日(土)江南市民文化会館第一会議室

子どもとその保護者を対象に、世界に目を向けてもらうために、様々なプログラムを開催しました。世界の人口を100人の村にみたてて世界の状況を分かりやすく描いた「世界がもし100人の村だったら」の内容をワークショッピング形式で体験したほか、江南市に事務局がある「バングラデシュ教育支援

の会」がサポートを行っている現地の学校での子どもたちの様子のビデオを見て、世界の子どもたちの暮らしについて学びました。後半では、在住外国人のみなさんが、その国の遊びやあいさつの紹介を行ったほか、親子で在住外国人のみなさんが作ったおやつを楽しむなど、楽しい時間を過ごしました。



たくさんの親子が参加しました。

外国の遊びを楽しみました。

在住外国人の方にインタビュー♪

世界の食習慣(お正月)／中国:1年の幸せと貯蓄が増えることを願い、甘いお餅を食べます。

# ふくらの家だより ~日本語特別支援教室から~

ふくらの家では、子ども塾のほか、江南市の委託を受け、母国語による生活相談や雇用相談、再就職の支援や地域での共生を図るため、日本語特別支援教室を開催しています。

## 支援サポーターから

「オハヨウゴザイマス」「ボラタルデ」など…たどたどしい日本語に外国語が混じった言葉が飛び交います。ふくらの家では、外国から来た人と地域に住む人たちが互いに自分の持っている文化を大切にしながら共生しています。皆さんが楽しみにしている「わいわいプラザ」(月に1回程度)では、日本や外国の家庭料理を作ったり、お菓子を焼いたりしながら、子どものことや家族のことなど、今習ったばかりの日本語で自然に会話がはずんでいます。カンボジアの春巻や韓国のチヂミなど世界の味も楽しんでいます。参加を希望される方は、ぜひお問い合わせください。



## 子ども塾

国際交流協会では、外国人の子どもたちへの放課後学習支援活動「子ども塾」を平成18年度から開催しています。日本語学習の支援とともに、子どもたちへ文化や習慣を伝える活動も行っています。

## 支援サポーターから

藤里小学校の空き教室を利用した国際ルームに、「ふくら藤里子ども塾」が9月13日より開設されました。教室は明るい絨毯が敷きつめられ、とてもアットホームな雰囲気です。備品や教材の整理や清掃も、保護者とボランティアで行いました。皆が協力することでよいスタートを切ることができました。



## 国際交流クッキング教室

6月12日(日)飾り巻き寿司教室

飾り巻き寿司マスターインストラクターの牛田純子さんの指導により、在住外国人の方や親子連れの方をはじめ30名が、パンダの飾り巻きずしやリラックマのいなり寿司などを作りました。



## ようこそKONANへ!



マランテ ケアヌさん  
(フィリピン出身)



魏 娜さん  
(中国出身)



張 子炫さん  
(中国出身)

- ①静かできれいな町
- ②バスケットボール
- ③ふくらの家のみんなが親切で優しいです。

- ①穏やかできれいな町。人も親切。
- ②エアロビクス
- ③これから日本にずっといるので、日本語の勉強を続けます。

- ①江南市の印象
- ②趣味・特技
- ③コメント

- ①環境がいい。人々が優しく、尊敬できる
- ②バトミントン、ピリヤード
- ③日本語をもっと勉強して、早く仕事をつきたいです。

## 在住外国人の方にインタビュー

世界の食習慣(お正月)/ペルー:1年を無事に過ごすため、0時になると、テーブルの下に潜り12個のぶどうを食べます。

